

新・量的緩和130兆円

日銀、過去最大の投入

国債購入歯止め凍結

日本銀行は4日、黒田東彦総裁の就任後初となる金融政策決定会合で、新たな量的緩和策の導入を全会一致で決めた。日銀が市場に流すお金の量（マネタリーベース）を2年で、過去最大となる130兆円分増やし、規模を2倍にする。2001年から06年まで続けた量的緩和の4倍近い量を投入し、歴史的な金融緩和に踏み出す。

▼2面Ⅱ「決意の緩和」 船出、8面Ⅱ市場に驚き

日銀が、金融政策の主眼を、政策金利を動かすやり方から、市場に流すお金の量を調節するやり方に変更するのは06年3月以来だ。日銀が重視する「マネタリーベース」は紙幣など現金と民間銀行が日銀に預ける当座預金の合計で、昨年12月末時点で138兆円。日銀はこれを13年末に200兆円、14年末に270兆円まで増やす。過去13年ですべて2倍になったが、今後は2年で一気に2倍に、過去最大を更新する。長期国債は現在の2倍の月7兆円のペースで買い、「廃止」ではなく「凍結」

長期国債の保有額は12年末の89兆円から、14年末には2倍の190兆円に増やす。日銀は今回、国債の買い過ぎを防ぐ自主ルール（「銀行券ルール」）は一時凍結した。事前に予想された「廃止」ではなく「凍結」

日銀が新たな緩和策を打ち出した直後から4日の東京債券市場では国債が買われ、長期金利の指標となる新発10年物国債の流通利回りは一時、過去最低となる0・425%まで下がった（価格は上昇。前日より0・125%幅低く）これまで最低だった2003年6月

必要な策全て講じた総裁

日銀の黒田東彦総裁は4日、金融政策決定会合後の記者会見で「次元の違う金融緩和だ。戦力の逐次投入はせず、必要な政策はすべて講じた」と強調した。その上で、「2%の物価安定目標を2年で実現するために必要な措置はここにすべて入っている」と確信している」と述べた。これまでの日銀の緩和策との違いを問われると「少しずつ緩和を拡大するやり方では（物価目標は）達成できない。必要なことをすべていま決定するのが新しい要素だ」と「量的・質的」

日銀の黒田東彦総裁は4日、金融政策決定会合後の記者会見で「次元の違う金融緩和だ。戦力の逐次投入はせず、必要な政策はすべて講じた」と強調した。その上で、「2%の物価安定目標を2年で実現するために必要な措置はここにすべて入っている」と確信している」と述べた。これまでの日銀の緩和策との違いを問われると「少しずつ緩和を拡大するやり方では（物価目標は）達成できない。必要なことをすべていま決定するのが新しい要素だ」と「量的・質的」

日銀が新たな緩和策を打ち出した直後から4日の東京債券市場では国債が買われ、長期金利の指標となる新発10年物国債の流通利回りは一時、過去最低となる0・425%まで下がった（価格は上昇。前日より0・125%幅低く）これまで最低だった2003年6月

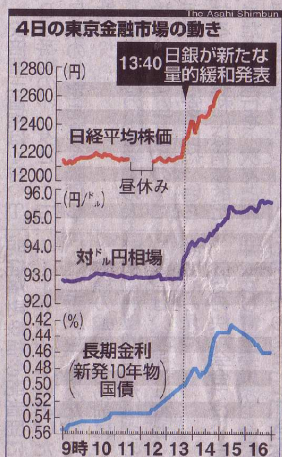
長期金利は最低更新

とどめたことで、過剰な買

い入れをしないよう一定の配慮をみせたものとみられる。日銀は99年にゼロ金利政策を導入したが、効果が薄いと見て、お金を大量に市場に流し込む量的緩和を01年3月に導入した。このときは、最大35兆円のお金を市場に流し込んだ。

その後06年3月に、景気が上向いてきたとして量的緩和を解除した。しかし、その後景気後退に陥り、10年10月にゼロ金利政策を復活した。今回、そのゼロ金利政策では効果が薄いと見て、再び量的緩和策を採り入れ、過去最大のお金を市場に流し込む。（高田寛）

止められた」（SMBC日興証券の末沢豪謙氏）。世界各国の10年物国債の利回りをみると、米国が1・8%台、ドイツが1・2%台で、日本は著しく低い。日本の長期金利が初めて1%を割った1998年までは、17世紀前半のイタリアで記録された1・125%が史上最低だったとされ、歴史的な低金利水準だ。決定会合の結果を受けて、株高・円安の流れも一気に強まり、日経平均株価は約2週間ぶりに1万2600円台を回復。前日より27・2円34銭（2・20%）高い1万2634円54銭で取引を終えた。円相場も1ドル＝95円60銭台まで下がり、約2週間ぶりの円安ドル高水準となった。ニューヨーク外国為替市場では、さらに円安が加速。一時、3月中旬以来となる1ドル＝96円台をつけた。（篠健一郎、湯地正裕）



アフリカ支援処理、14年放置

利子14億円 税で穴埋め

農水省

日本政府がアフリカ5カ国からの支払いを免除したコメ代金を、帳消しにする国内手続きを14年間に送りため、余分な利子が144億円発生していたことが明らかになった。農水省は、この利子を14年度に発生した利子分の144億円は、農水省が独自

帳消しのやり方を決めた。99年時点で4333億円は、農水省が2012年度の補正予算で3月に処理。余分に発生した利子分の144億円は、農水省が独自

2013年4月4日 日経平均株価終値 12,634円(+272円)

10年物国債利回り 0、430% 歴史的な低金利(米国1、8%台、ドイツ1、2%台)